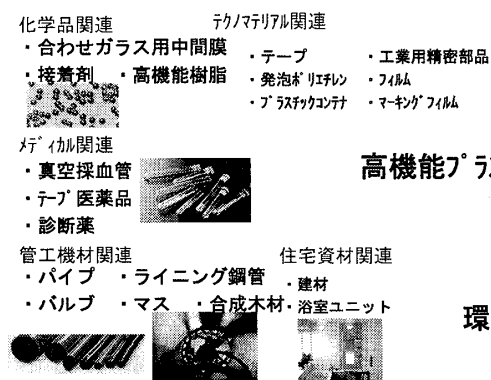


3. 積水化学工業株式会社

企業概要、環境理念や環境取組の特徴

積水化学工業株式会社概要（2006年3月末時点）

1. 設 立 1947年 3月 3日
2. 資 本 金 1,000億 200万円
3. 従業員数 17,966人 (連結ベース)
4. 売上高 8,850億円 (連結ベース)
5. 営業利益 402億円 (連結ベース)
6. 事 業 住宅事業
環境・ライフライン事業
高機能プラスチック事業



高機能プラスチック事業

環境・ライフライン事業

売上高(連結)
8,850億円

住宅事業
48%

鉄骨系ユニット住宅
「セキスイハイム」



木質系ユニット住宅
「セキスイツーホーム」

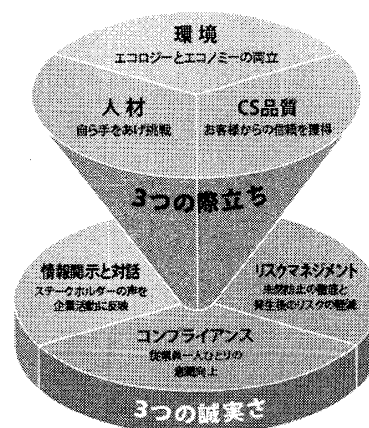


- ・ 積水化学のCSRとは

<積水化学グループのCSR（企業の社会的責任）>

「環境」「CS品質」「人材」の3つで“際立ち”、
企業理念の実現へ向け、事業を通じて社会に貢献する

CSRの取り組みの基盤をなす、コンプライアンス・リスクマネジメント・情報開示と対話を
3つの「誠実さ」と捉え、経営を磐石なものにする



ベンチマークの目的

環境経営指標としての活用

JEP I X活用の背景

当社に適した環境経営の指標の模索

＜当事業業の特徴＞

3カンパニー 異なる事業分野 異なる環境負荷

住宅カンパニー：工場生産住宅

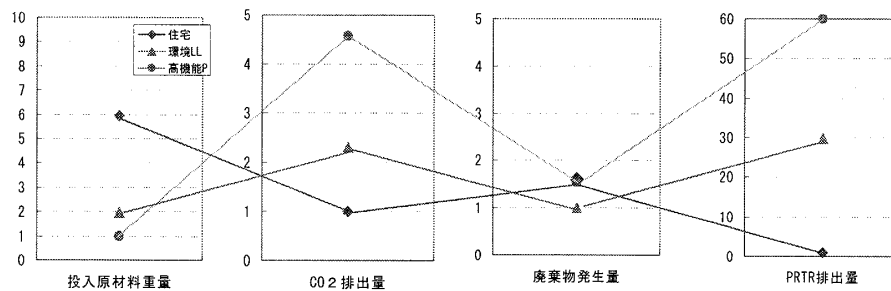
環境・ライフラインカンパニー：樹脂加工、インフラ部材

高機能プラスチックカンパニー：樹脂加工、中間素材



統合化の必要性

各カンパニーの環境負荷の比較（主要環境負荷）



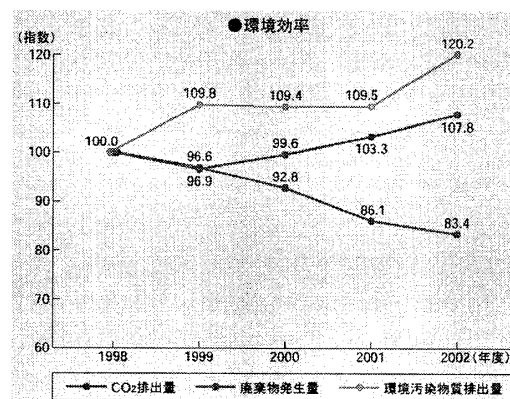
カンパニーによって環境負荷が大きく異なる

これまでの環境効率指標の活用
(2003年～2004年度)

環境負荷毎に効率を評価

生産売上高 vs CO2
廃棄物
化学物質

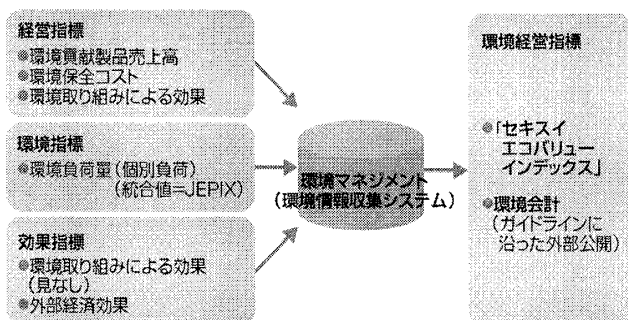
グループ全体としての
評価が困難



(環境レポート2003)

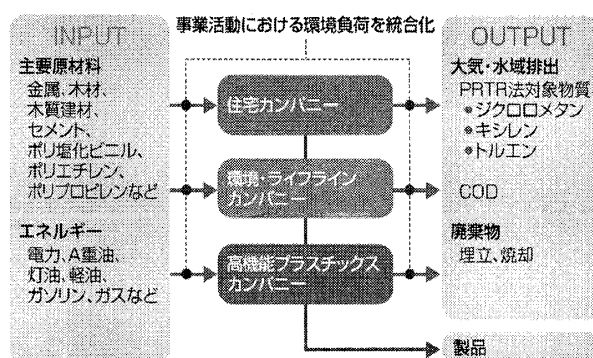
JEPIX の適用

統合化手法「JEPIX」にて環境負荷を評価 (2005年～)



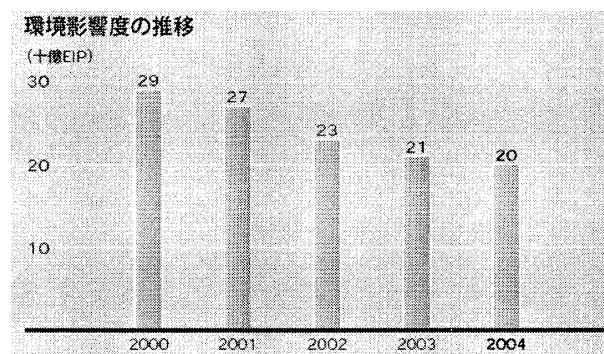
グループ全体の環境経営の進捗を評価する (相対的)

「JEPIX」での評価対象範囲



当社の環境負荷に焦点を対象とし、
グループ全体、およびカンパニー毎の評価
(将来的には事業部単位でも可能な手法)

「JEPIX」での評価結果例



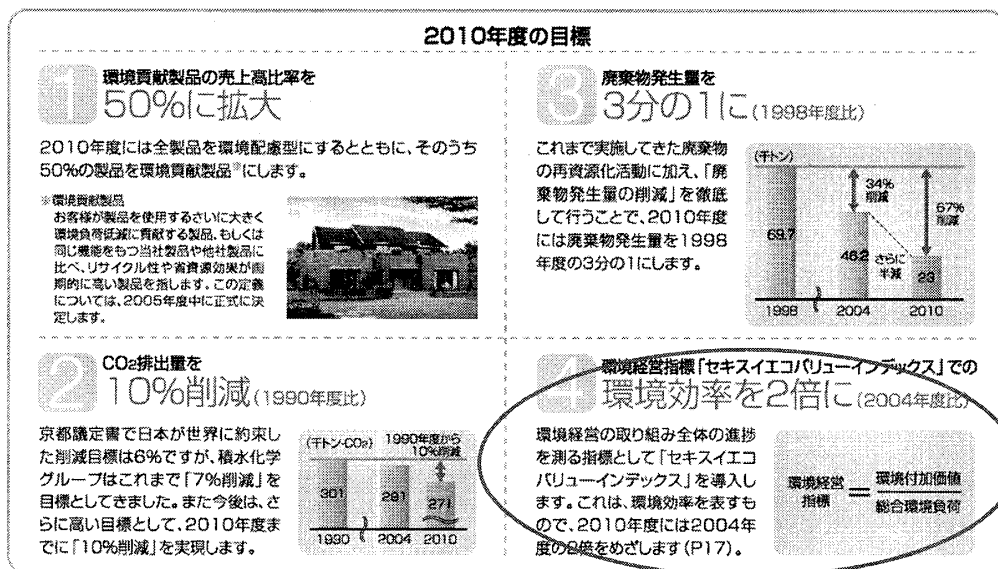
(環境・社会報告書2005)

対外的に公表

JEPIX のさらなる活用

環境中期ビジョン「環境トップランナープラン」

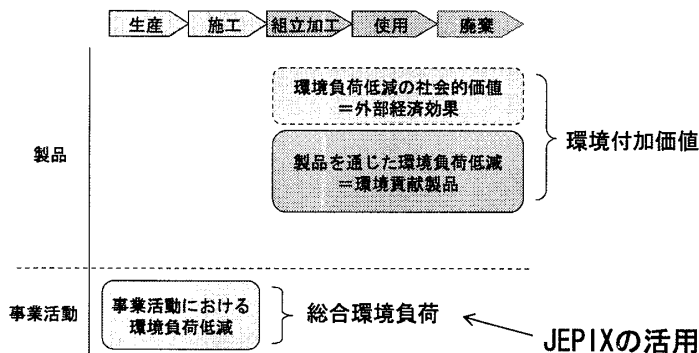
これまでの取り組みを踏まえ、2010年にむけた挑戦的な目標を設定している。



セクスイエコバリューインデックスとは

$$\text{セクスイエコバリューインデックス} = \frac{\text{環境付加価値}}{\text{総合環境負荷}}$$

自社の環境影響度（環境負荷）に対して、
どのくらい社会の環境的価値を生み出したか



今後の可能性

- 環境取り組みの進捗：環境経営指標「エコバリューインデックス」による評価